

ヒロクチコギセル *Reinia variegata* (A. Adams)

【選定理由】

愛知県下では、1976年4月に伊良湖岬で採取されて以降の生息確認記録がない種である。伊良湖岬では2016年10月に8名で調査を行ったにもかかわらず、本種を再確認することができなかった。本種は、既に40年以上、愛知県下で再発見されておらず、絶滅した可能性がきわめて高いと考えられる。しかし、生息地のひとつとされている渥美半島先端部の宮山原始林の山頂部での調査がなされていないため、現時点ではまだ絶滅を宣言することが出来ない。きわめて僅かな生存の可能性も考慮して、これまでのランクを踏襲し、絶滅危惧 I A 類のままとした。

【形態】

殻長 9.3 mm、殻径 3.0 mm 程度の円みを帯びた短い紡錘形の小型種である。殻は薄く、幼弱個体は黄褐色のみの殻であるが、老成すると殻表には黄褐色の地に明瞭な白色の火焰彩が現われ、美しい縞模様となる。愛知県では同一環境に生息していた例が知られる類似種のトカラコギセルと異なり、殻内部に腔壁や閉弁を有していない。殻口は薄く、殆ど肥厚しない。殻口上部の上板の突起は小さく、その正面右側の下板は弱い。

【分布の概要】

【県内の分布】

生息の根拠となる、標本が残存する明確な本種の記録(豊橋市自然史博物館所蔵 TMNH-MO-27928, 27934~27937, 27938~27943, 27944~27965 および、展示 2 個体)は、伊良湖岬のみである(早瀬・他, 2017)。この標本のうち、採取日の記録が残るものは、1976年4月4日のものである。本種は、三河湾の島嶼に生息するとされた報告もあるが、標本確認結果はトカラコギセルのみである。

【世界および国内の分布】

日本固有種である。宮城県南三陸町以南の本州、四国、九州の海岸地域に分布する(湊, 2014)。

【生息地の環境／生態的特性】

愛知県内では、伊良湖岬の海岸林に生息するとされる。海岸の常緑樹の樹幹に付着する。胎生(卵胎生)で、親個体から直接、稚貝が産み出される。

【現在の生息状況／減少の要因】

1976年4月4日の標本(豊橋市自然史博物館所蔵)が採取されて以降、愛知県内では、本種の生息が確認されていない。愛知県下では40年以上、再発見されておらず、既に絶滅した種の可能性がきわめて高い。かつて生息していた証拠標本が残り、愛知県下で唯一の明らかな生息地である伊良湖岬では、海岸周囲の遊歩道の整備(拡幅および舗装)に伴い、環境悪化した(野々部・他, 1977)可能性が高い。10年後の1986年4月には、1976年4月4日の標本採集者自身が伊良湖岬で本種を確認できなかった(山崎・高阪, 1986)。

【保全上の留意点】

現在、本種の生息の可能性が残されている、国の天然記念物に指定される宮山原始林の森林環境の維持が重要である。

【特記事項】

今後の調査で宮山原始林での本種の生息が確認されなかった場合は、本種は愛知県下では絶滅したと考えられる。再確認された場合には、早急に保護および捕獲規制の検討をする必要がある。なお、遺伝子解析では、本種とトカラコギセルが同一クレード内に混在して位置し、両種を2種として区分できない結果が示されている(Motochin et al., 2017)。しかし、殻形態においては、ごく一部の特異な個体例(図示した三重県産の例は、殻の外形はトカラコギセルと同一であるが、腔壁や閉弁を持たない特徴より暫定的にヒロクチコギセルに同定する)を除き、明らかに両種の識別は可能であることから、ここでは両種を別種として扱う。

【引用文献】

- 早瀬善正・西 浩孝・河辺訓受・木村昭一・矢橋 真・大貫貴清・岩田明久・仲田彰男, 2017. 伊良湖岬の陸産貝類, かきつばた, (42): 1-5.
 湊 宏, 2014. ヒロクチコギセル, p.143. in: 環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室(編) レッドデータブック 2014 - 日本の絶滅のおそれのある野生生物 - 6 貝類, 口絵 8 + xliii + 455pp. ぎょうせい, 東京.
 Motochin, R., Wang M. & Ueshima, R., 2017. Molecular phylogeny, frequent parallel evolution and new system of Japanese clausiliid land snails (Gastropoda: Stylommatophora). Zoological Journal of the Linnean Society, 181 (4): 795-845.
 野々部良一・後藤常明・山崎芳江, 1977. 伊良湖の貝類分布調査(II陸産), かきつばた, (2): 7.
 山崎芳江・高阪元治, 1986. 東海地方の貝類現況報告(1), (8) 渥美半島, かきつばた, (12): 15.

【関連文献】

- 野々部良一・高桑 弘・原田一夫, 1984. 陸産貝類, pp.23-40. in: 佐藤正孝・安藤 尚(編), 愛知の動物, 325pp. 愛知県郷土資料刊行会, 名古屋.

(早瀬善正)



1: 豊橋市自然史博物館所蔵(TMNH-MO-27928) 田原市伊良湖岬 1976.4.4. 高桑宏採集, 2: 三重県大王町, 1998年4月12日, 河辺訓受採集